



横須賀市 企業版ふるさと納税 活用事業ご紹介

令和6年2月21日（水）

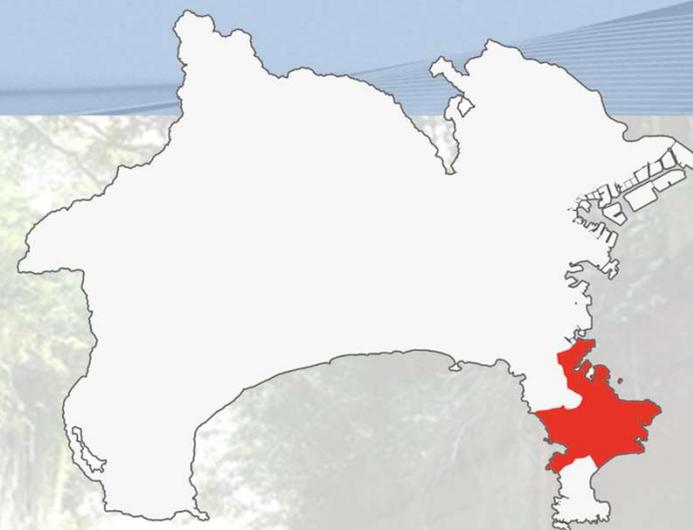
横須賀市 財務部財務管理課

文化スポーツ観光部企画課・観光課・美術館運営課

■ 横須賀市について

人口 374,325人（令和6年1月1日現在）

面積 100.81km²



横須賀市は神奈川県南東、三浦半島の中心に位置し、東京湾と相模湾に面した市域は丘陵地が多くを占め、首都圏有数の豊かな自然環境に恵まれた街です。

幕末期ペリー来航の地として知られており、日本初となる石造りのドライドックをもつ横須賀製鉄所（造船所）が建設されるなど、日本近代化のルーツとなった土地でもあります。

■ 企業版ふるさと納税について

横須賀市の課題

地域経済の停滞や地域コミュニティの縮小・希薄化、空き家の増加、医療や介護人材の不足など、さまざまな分野で人口減少・少子高齢化の進展課題が生じています。

目 標

「子育てのしやすさ」「安全安心な生活環境」などの生活基盤を充実させながら、他市にはない個性を磨き、伸ばすことで、躍動感のある横須賀を目指します。

▶ 第2期横須賀市まち・ひと・しごと推進計画



横須賀市
ホームページ

■ 企業版ふるさと納税募集事業

第2期横須賀市まち・ひと・しごと推進計画

- ア 人口減少に対応したまちづくりを進める事業
- イ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える事業
- ウ 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する事業
- エ 関係人口の創出や定住を促す魅力的な都市環境を作る事業
- オ 地球温暖化対策を進め、循環型社会を形成する事業

本日は、

『エ 関係人口の創出や定住を促す魅力的な都市環境を作る事業』
から **3事業** をご紹介いたします。

大規模スポーツ大会等誘致事業

■事業の概要

- ・海洋、アウトドアスポーツに適した本市の環境を活かし、大規模スポーツ大会等の誘致を行う
- ・大会をきっかけとした地域活性化を図る
- ・横須賀市の新たな魅力を創出し、発信することで、若者が集うまちを目指す

■企業版ふるさと納税の実績

「BMXフリースタイルジャパンカップ」に対して令和2年度から延べ3社16,000千円のご寄附

■目標

「ウインドサーフィンのまち」
「アーバンスポーツのまち」へ

- ・ウインドサーフィンW杯開催実現にむけて、地域の人々や関係企業と協力し、三浦半島の活性化に貢献します。また、大会の開催を契機に、「ウインドサーフィンのまち」としての魅力発信の取り組みを進めていきます。
- ・異国情緒あふれる横須賀市はアーバンスポーツとの親和性が高く“アーバンスポーツの聖地”として文化が根付き、「誰もが輝けるかっこいいまち」となることを目指します。また、「アーバンスポーツのまち横須賀」のイメージ定着と、アーバンスポーツの普及を進めています。

横須賀市 企業版ふるさと納税

■主要事業

ウインドサーフィンW杯の開催

ヨーロッパを中心に毎年10か所程度で開催されるワールドツアーの1大会として過去5回開催。

2023年大会 開催実績

- ・参加選手：78名（男子56名、女子22名）※33の国と地域
- ・会場来観者数：約3万2000人（5日間延べ人数）
- ・オンライン視聴数：約9万6000回（5日間延べ回数）
- ・メディア露出：255件（テレビ、新聞、web等）



「ウインドサーフィン」と
「BMXフリースタイル」は
パリ五輪の競技種目！

BMXフリースタイルジャパンカップの開催

- ・2022年4月 （一社）全日本フリースタイルBMX連盟と連携協定を締結
- ・2022年7月 全国自治体で初の公式大会誘致・開催（来場者数：9,700人）
*メディア露出は279媒体／広告換算値：約4億2100万円
- ・2023年6月 国際大会に格上げして開催（来場者数：20,100人）
*メディア露出は958媒体／広告換算値：約4億8000万円
- ・2024年秋頃 3回目を開催予定



eスポーツ事業 (Yokosuka e-Sports Project)

■事業の概要

- ・横須賀市の新たな魅力の創造・発信を目的
- ・eスポーツによる
地域コミュニティの活性化
文化としての定着を目指す プロジェクト

■企業版ふるさと納税の実績

eスポーツ事業に対して
令和3年度から延べ8社に54,000千円ご寄附

■目標

横須賀=eスポーツの聖地へ

全国でも、
早期かつ先進的にeスポーツに取り組む自治体
として注目されています。

現在実施している、
高校生を中心に、ICT教育を含めたeスポーツ
の普及に加え、幅広い年齢層へのeスポーツに
普及を進めていきます。

横須賀市 企業版ふるさと納税

■主要事業（企業版ふるさと納税活用事業）

高校支援

- ・eスポーツ部創設支援(市内**10校**にゲーミングPC導入)
- ・スカラーシップ(選抜)制度導入
- ・ゲーミングPC組立巡回教室
- ・国際交流イベント



大会開催

- ・YOKOSUKA e-Sports CUP（全国高校生大会）開催
- ・市内対抗戦開催



産学民官連携

- ・YOKOSUKA e-Sports Partners制度開始
(学校11・団体36 合計47団体が参画)

YOKOSUKA
e-sports
PARTNERS



企業の皆様

**横須賀美術館の所蔵作品購入資金を
企業版ふるさと納税で！**



横須賀美術館

(文化スポーツ観光部美術館運営課)

横須賀美術館は、横浜から車で約40分

横浜から電車とバスで約1時間

車なら約40分の好立地

海、山に囲まれた素晴らしい環境

年間約11万人が訪れる郊外型の美術館



自然豊かな県立観音崎公園の中にあります。

美術館が所在する神奈川県立観音崎公園は、東京湾に突き出た観音崎のほぼ全域に広がっています。

明治初期から陸軍の要塞地帯となり、太平洋戦争の終結まで一般人は立入禁止となっていました。



観音崎灯台



三軒屋砲台跡



園路沿いの風景

特徴的な建物外観

[特徴] 景観と一体化した建物
ガラスと鉄板のダブルスキン
吹抜の地下展示室は、高さ約 1.2 M
建物のあちこちに丸穴
3つの広場



数々の受賞歴がある美術館です。

平成19年（2007年）

4月28日（土）開館

第52回神奈川建築コンクール一般建築部門最優秀賞

平成20年（2008年）

第49回BCS賞（建築業協会賞）受賞

平成22年（2010年）

2009日本建築家協会賞受賞

Artgeneが選ぶ“絶景美術館トップ5”にランクイン

数々の受賞歴がある建物、ロケーション！

令和 2年（2020年） 観覧者数150万人達成

トリップアドバイザー

「旅好きが選ぶ！人気の美術館ランキング」14位にランクイン

令和 5年（2023年）

ELLE DECOR Japan

「一度は訪れるべき、世界の絶景美術館10」に選定

ドラマ、CM撮影にも沢山登場しています。

- 特徴的な建物、素晴らしい景観が人気
- ドラマ、CM、ミュージックビデオ、ファッション広告などなど幅広いジャンルで撮影を実施



TBSドラマ「マイファミリー」



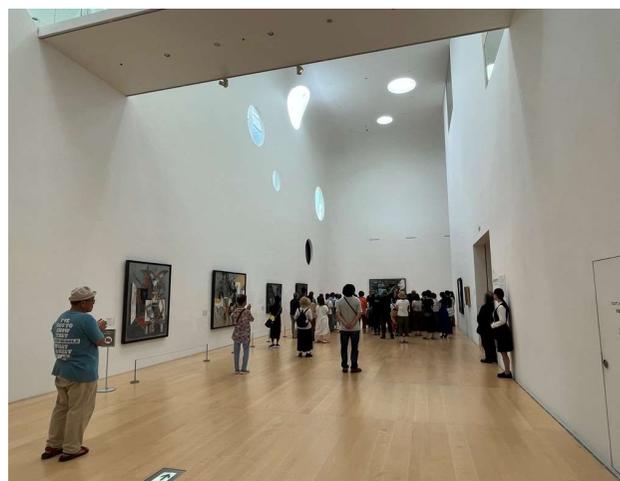
ユニクロCM
「2023 UVカットLifeとWear」



特徴ある建物の中でコンサートも開催しています。

エントランスや地下ギャラリーを使用して、定期的にコンサートを実施。

ダブルスキン構造で鉄板に囲まれているため、「響きが素晴らしい！」と演奏者にも大好評！

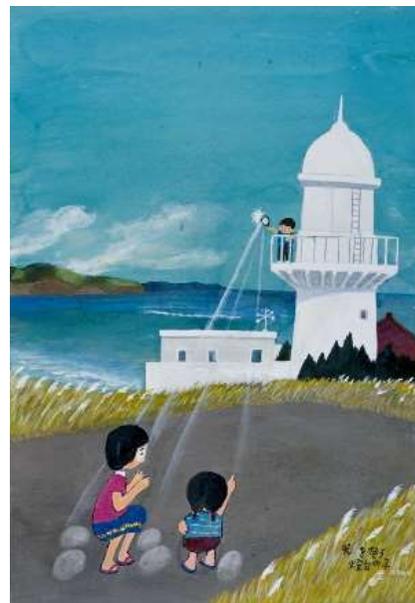


地域に根差した作品など、所蔵約5000点！

【主な作家】

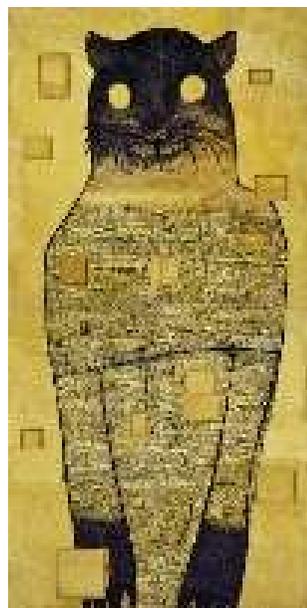
朝井閑右衛門 油彩約300点、水墨画約280点

谷内六郎 『週刊新潮』の表紙原画約1300点

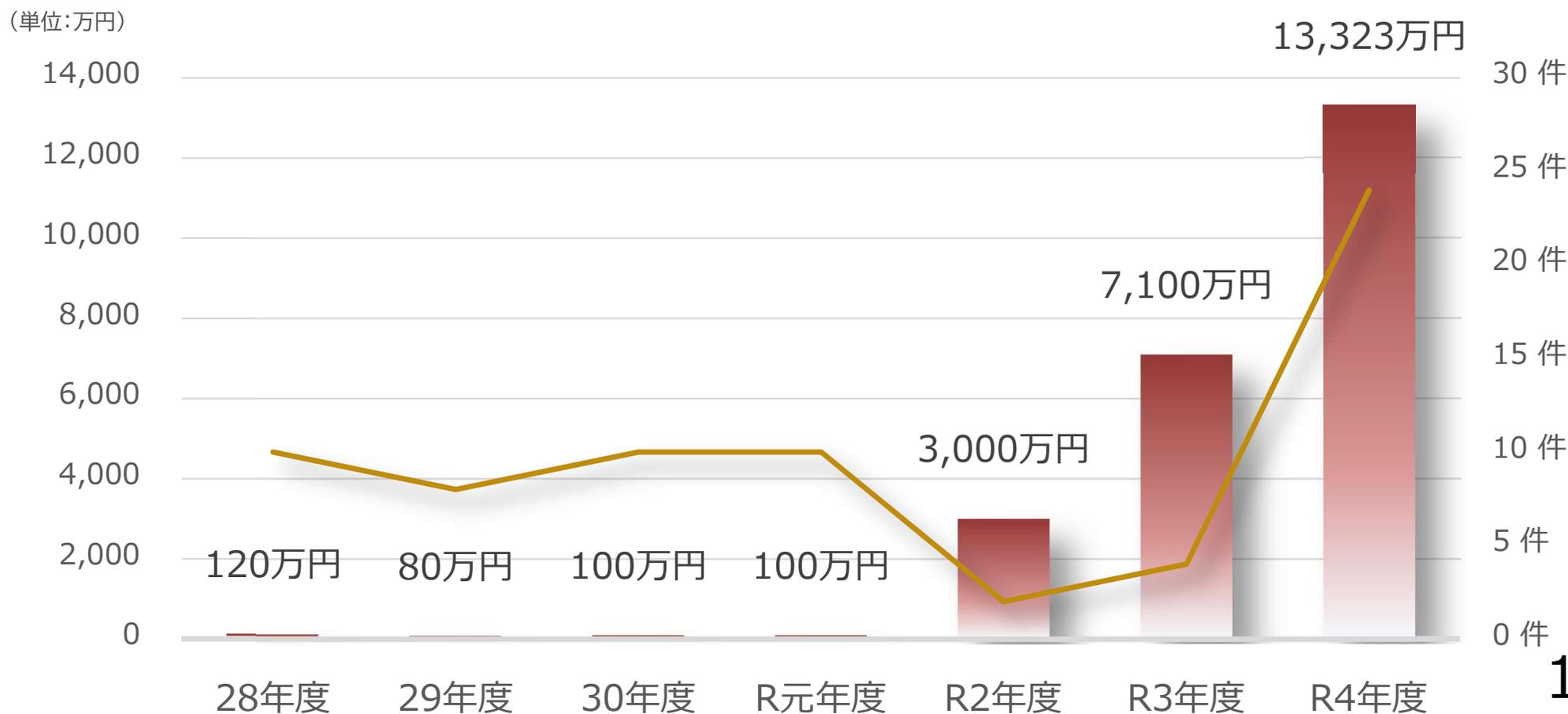


令和3年度からふるさと納税を活用し作品を購入

- 令和3年度購入 矢崎千代二 《秋の園》
- 令和4年度購入 長沢明 《Mother III》
天野純治 《field of water #015018》



■ 【参考】 企業版ふるさと納税の状況（横須賀市）



横須賀市 企業版ふるさと納税

■ 最後に

横須賀市にご縁のある企業様

横須賀市の取り組みに賛同いただける企業様

ぜひ一緒に地方創生に取り組みませんか？
まずはお気軽にお問い合わせください！

ご寄附いただいた企業様は

- ・感謝状の贈呈
- ・横須賀市HPにて寄附企業様をご紹介

させていただきます。

【問い合わせ先】 ◇財務部 財務管理課 TEL:046-822-8276 MAIL:rp-fi@city.yokosuka.kanagawa.jp

◆ウインドサーフィンに関するお問い合わせ:文化スポーツ観光部 エンターテイメント推進担当課
TEL:046-822-9284 MAIL:e-promo@city.yokosuka.kanagawa.jp

◆BMXに関するお問い合わせ:文化スポーツ観光部 アーバンスポーツ推進担当課
TEL:046-822-9820 MAIL:pd-cstd@city.yokosuka.kanagawa.jp

◆eスポーツに関するお問い合わせ:文化スポーツ観光部 観光課
TEL:046-822-8568 MAIL:vacp-ec@city.yokosuka.kanagawa.jp

◆美術品取得保管事業に関するお問い合わせ:文化スポーツ観光部 美術館運営課
TEL:046-845-1211 MAIL:ma-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp